

思い出の写真で山内君を偲ぶ

大橋貞雄(化工会)

5月19日、奥様からのお葉書を頂きました。それは、山内君の訃報でした。

突然なことで、「なんで彼が！」と驚愕の念が禁じえませんでした。

4月1日生まれまでが早生まれですが、山内君は正に4月1日生まれの強運の持ち主です。

前立腺癌はかなり前から治療しておりましたが、落ち着いており問題ないとお聞きしておりましたので、奥様にお伺いしたところ、今春、肝臓癌が見つかり、しかも深刻な宣告を受けたとのことでした。

恒例の編集会議でも、洒脱で、よどみない話で場を和ませてくれていました。彼の透き通った少し高いトーンのお話を聞けなくなり、残念・無念です。

さて、大山研で共に過ごした約60年前を振り返って、山内君との思い出を記してみたいと思います。

我家の納戸の奥から、昔のアルバムを探し出し、山内君との写真の中から、3枚を選びました。

写真は、全て一人だけ恰好よく映っています。山内君を偲ぶ一助となれば幸いです。



これは学食での写真でしょうか。
一人だけ恰好が良いでしょう！
スニーカーもご覧あれ！
森君と小生は引き立て役ですね。

これは麻布高校9人仲間の岡野君
(建築でしたが就職後夭折されました)
が撮ってくれたものです。

昭和32年の春、見学旅行がありました。水俣の新日本窒素までが決められたコースですが、延岡の旭化成はオプションでしたので、鹿児島、宮崎を観光して延岡に行くことになりました。

鹿児島大学の先生(山内学長の教え子)の歓迎を受け、鹿児島観光を満喫させて頂きました。



桜島を背景にワンショット。
大塚、山内、大橋の三人と左の
お二人は鹿児島大学の先生です。
森君が写っていませんが、多分、
彼が撮ったからでしょう。
山内、森、大塚、大橋の4人だけ
の写真もありますので。

さて、次に宮崎に移り、日南海岸の観光を楽しみました。



山内君は今風でいえば、イケメン。
それを髭髯とさせるワンショット。

場所は、皆さん良くご存じの日南海岸のサボテン公園でのワンショット。
後ろの写っているのは森君です。

昭和30年後半から、新婚旅行のメッカとなった観光地です。

大山研に入り、山内君と親しくさせて頂きました。山内、森、小生3人の同窓が揃って大山研に行くなど、思えば節操のないことでした。小生元々電気志望で工大に入ったものの、電気・機械は無理とのことでしたので両君に付いて行ったのでしょう。大山先生は「麻布中学の先輩でもあるし」とも。

山内君との思い出の中に、未だに鮮明に記憶していることがあります。

山内君はテニスに励んでおられたため、日頃は勉強時間がなかなか取れないのですが、学期試験の1カ月前位に、ぱっちりスイッチがオンとなり、図書館に詰めて集中して猛勉強をする始める姿を見て感心させられました。、小生も引きずられて図書館に籠ったことです。集中して勉強することを教えて貰いましたし、スポーツと勉学を両立させるにはこうあるべきかとも。

小柴さんの「山内さんを偲ぶ」にもあるように、大山研の33年と35年仲間の燦々珊瑚会で5余年程前までは一緒にプレーをしていましたが、小柴さん、小生の方がスコアが良いと、ゴルフは止った球を打つのに、俺はテニスで動いてる球を打つので「お前たちとレベルが違うのだ」と、笑い飛ばしていましたし、時にはかなりきついと思われる言葉も出ますが、流石、山内君の仁徳、相手を和ませてしまいます。如何でしょうか？私だけの感想ではないと思いますが。

ゴルフは止めてもテニスは元気に続けていた山内君が消え去ることなど、思いもよりませんでした。あらためて、衷心よりご冥福をお祈り致します。

大山研で青春時代を共にし、しかも高校同窓の山内君の急逝に際し、お悔やみと思い出の記をと出山さんから言われていましたが、筆不精でサボっている間に、梅田、小柴両君に先を越される？事態となり、遅ればせながら、古いアルバムからの山内君との写真を見出し、思い出に浸るとともに冥福を祈らせて頂きました。

合掌